

SHIMANO STOPS

SHIMANO Total Electric Power System

SC-E7000ユーザーマニュアル

サイクルコンピューター

目次

重要なお知らせ	3
安全のために必ずお守りください.....	3
使用上の注意.....	3
乗車前の日常点検項目	4
分冊構成.....	5
各部の名称.....	6
本書での操作表記方法について	7
サイクルコンピューターの取付け/取外し.....	7
基本操作.....	8
電源をON/OFFする.....	8
画面の見かた.....	9
バッテリー残量表示.....	10
ライトをON/OFFする	10
走行情報表示を切り替える.....	11
走行距離をリセットする.....	12
設定メニュー.....	13
設定メニューに切替える.....	13
設定メニュー画面からメイン画面に戻る [Exit]	13
時刻を設定する [Clock].....	14
操作音をON/OFFする [Beep]	14
ディスプレイの表示を設定する	15
表示文字色を切替える [Font color]	15
表示言語を切替える [Language].....	15
速度と距離の単位を変更する [Unit]	15
他のデバイスと表示速度を合わせる [Display speed].....	15
走行距離をリセットする [Clear].....	16
アシスト自転車の機能を設定する	17
ライトをON/OFFする [Light].....	17
こぎ出し時の変速段数を設定する [Start mode]	17
乗り味をダイナミックに変更する [Assist profile]	17

オート変速を調整する [Shift timing]	18
ワイヤレス接続.....	19
2.4 GHzデジタルワイヤレスシステム	19
ANT接続	19
接続方法	19
Bluetooth® LE接続	19
接続方法	19
ワイヤレスシステム仕様	19
E-TUBE PROJECT	19
E-TUBE PROJECTで設定可能な項目	20
トラブルシューティング	21
RDプロテクション機能からの復旧 [RD protection reset]	21
電動変速ユニットの変速調整 [Adjust]	21
エラー・ワーニング表示	22
エラー表示	22
ワーニング表示	22
困ったときは	23

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整、交換などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト (<https://si.shimano.com>) で公開しています。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しく使用し、いつでも確認できる状態にしておいてください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために必ずお守りください

警告

- 製品の分解、改造は行わない。動作不良を起こし、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。

安全に乗車するために

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばわれない。転倒事故などのおそれがあります。
- 走行前にはライトの点灯確認を行う。

安全に使用するために

- 自転車への配線作業、組付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態で行う。感電するおそれがあります。

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナットなどが緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。
- 炎天下の密閉された車内やストーブの近くなど過度の高温環境下にさらさない。内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こす可能性があります。
- 製品を過度の低圧下にさらさない。内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こす可能性があります。航空機による輸送には問題ありません。

廃棄について

- 本製品はバッテリーを内蔵しているため、地域のルールに従って廃棄する。焼却や圧搾・切断などが行われると内蔵バッテリーが爆発する可能性があります。

注意

安全に乗車するために

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。

安全に使用するために

- システムの改造は絶対に行わない。システムに異常をきたすおそれがあります。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。

使用上の注意

安全に使用するために

- 故障あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- 使用していないコネクタには必ずキャップを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の浸入により故障、あるいはサビの原因となります。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはスイッチユニットが破損するおそれがあります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。

乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- ドライブトレーンの変速はスムーズか。
- コンポーネント各部に緩み/損傷がないか。
- コンポーネントはフレーム/ハンドルバー/ステムなどに確実に取り付けられているか。
- 走行中に異音はないか。
- バッテリーの残量は十分か。

- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。

PCとの接続通信

PCと自転車(システムまたはコンポーネント)をPC接続機器を用いて接続し、E-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- PC接続機器：SM-PCE1/SM-PCE02
- E-TUBE PROJECT：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

スマートフォンとの接続通信

- スマートフォンと自転車(システムまたはコンポーネント)をBluetooth® LEで接続し、スマートフォン版E-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。
- E-TUBE PROJECT：スマートフォン用アプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

お手入れについて

- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。
- 製品の清掃にシンナーなどを使用しないでください。表面を破損する恐れがあります。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

ラベルについて

- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。

分冊構成

SHIMANO STEPSのユーザーマニュアルは、下記の分冊構成になっています。

これらのユーザーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。また、ユーザーマニュアルはいつでも確認できる状態にしておいてください。

最新のユーザーマニュアルは、ウェブサイト(<https://si.shimano.com>)に掲載しています。

● SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル

SHIMANO STEPSの基本となるマニュアルです。下記の内容を記載しています。

- SHIMANO STEPSクイックガイド
- シティ・トレッキング・MTBタイプといったフラットハンドルバーを採用したアシスト自転車の操作
- トラブルシューティング

● SHIMANO STEPS ドロップハンドルバーバイク対応ユーザーマニュアル(別冊)

ドロップハンドルバーを採用し、デュアルコントロールレバーで操作するアシスト自転車の操作について記載した別冊です。SHIMANO STEPSユーザーマニュアルと併せてお読みください。

● SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル

下記の内容を記載しています。

- SHIMANO STEPS専用バッテリーの充電方法や取扱いかた
- SHIMANO STEPS専用バッテリーの自転車への脱着方法
- サテライト電源ボタン、サテライト充電口の使いかた
- 充電時、エラー時のバッテリーLED表示の見かたやエラーの対処方法

● サイクルコンピューターユーザーマニュアル(本書)

下記の内容を記載しています。

- サイクルコンピューターの基本操作や各種設定方法
- ワイヤレス通信の方法
- サイクルコンピューターのトラブルシューティング

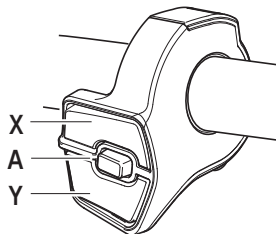
● スイッチユニットユーザーマニュアル

アシストスイッチおよびシフトスイッチのユーザーマニュアルです。スイッチユニットの操作についてまとめています。

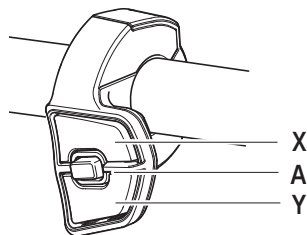
各部の名称

本製品は、本体の機能ボタンと、アシスト自転車に搭載されたスイッチユニットで操作します。

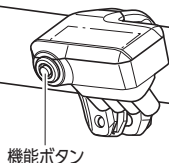
3スイッチタイプスイッチユニット(左)



3スイッチタイプスイッチユニット(右)

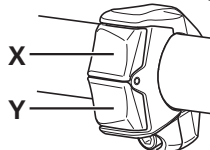


SC-E7000

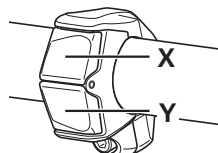


機能ボタン

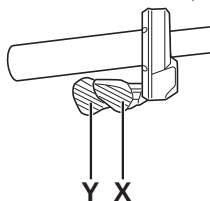
2スイッチタイプスイッチユニット(左)



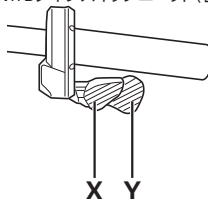
2スイッチタイプスイッチユニット(右)



MTBタイプスイッチユニット(左)



MTBタイプスイッチユニット(右)



各ボタン・スイッチを押したときの動作は下記の通りです。

サイクルコンピューター

機能 ボタン *1	乗車時: 走行情報表示の切替え 設定時: 画面切替えや変更した設定の確定
--------------	---

*1 長押しした場合の操作割当ては、アシスト操作が割り当てられたスイッチユニットが接続されているかどうかで異なります。

- アシスト操作が割り当てられたスイッチユニットが接続されている場合: 設定メニュー画面の表示
- アシスト操作が割り当てられたスイッチユニットが接続されていない場合: アシストモードの変更

スイッチユニット(左) (デフォルト:アシスト用)		スイッチユニット(右) (デフォルト:電動変速用)	
スイッチ-X	乗車時: アシスト力をアップ 設定時: カーソルの移動や設定の変更	スイッチ-X	乗車時: シフトアップ
スイッチ-Y	乗車時: アシスト力をダウン 設定時: カーソルの移動や設定の変更	スイッチ-Y	乗車時: シフトダウン
スイッチ-A	乗車時: 走行情報表示の切替え 設定時: 画面切替えや変更した設定の確定	スイッチ-A *1	乗車時: オート変速とマニュアル変速の切替え

*1 お使いのアシスト自転車オート変速に対応している場合のみ有効です。



- 本書では、スイッチユニットの機能割当てについてデフォルトの設定で操作を説明しています。E-TUBE PROJECTに接続すると、スイッチの機能割り当てを、ここで説明している内容から変更することができます。詳しくは購入した販売店にお問い合わせください。
- スwitchユニットによってはスイッチの配置が異なる場合があります。詳しくは「スイッチユニットユーザーマニュアル」を参照してください。

■ 本書での操作表記方法について

以降、本書では本製品の本体ボタンおよびスイッチユニットを使った操作を下記のように表記しています。

凡例	操作
<F>	機能ボタンを押す操作を表します。
<↑>	アシストスイッチのスイッチ-Xを押す操作を示します。
<↓>	アシストスイッチのスイッチ-Yを押す操作を示します。
[Clock] (例)時刻設定	本書では、サイクルコンピューターの画面上で表示される項目を [] で囲んで表記しています。手順で表記している場合は、画面上の表示を選択し、機能ボタンまたはアシストスイッチのスイッチ-Aを押して画面を切替えたり、設定を確定したりする操作を表しています。
<A>	アシストスイッチのスイッチ-Aを押す操作を示します。



- 本書の手順説明で<F>と表記している操作は<A>で代用することができます。

サイクルコンピューターの取付け/取外し

本製品の取付け/取外しについては、購入された販売店または代理店にお問い合わせください。

基本操作

■ 電源をON/OFFする

本製品の電源は、アシスト自転車の主電源と連動しています。主電源をONにすると、アシストの駆動、本製品の電源、電動変速機構、ライトなど、アシスト自転車のドライブユニットに接続されているコンポーネントすべての電源がONになります。

主電源をON/OFFする方法は、[SHIMANO STEPSユーザーマニュアル]を参照してください。

使用上の注意

- 電源をONにする前に、[SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル]を参照し、下記を確認してください。
 - バッテリーがバッテリーマウントにしっかりと取付けられていること
- 充電中は電源をONにできません。



- 電源のONの後、自転車を10分以上放置すると、自動的に電源がOFFになります (オートパワー-OFF機能)。

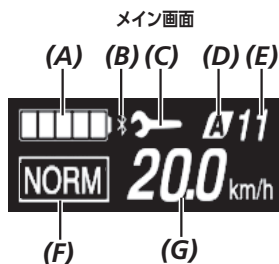
主電源がONになると、下記のような画面が表示されたあと、メイン画面に切り替わります。



SHIMANO
STEPS

■ 画面の見かた

メイン画面で表示される項目は、お使いのアシスト自転車によって異なります。



(A)	バッテリー残量表示 (「バッテリー残量表示」参照)	(E)	変速段数表示 *1 現在の変速段数が表示されます。
(B)	Bluetooth® LEアイコン 外部機器とBluetooth® LE通信が成立している場合に 表示されます。 (「Bluetooth® LE接続」を参照)	(F)	現在のアシストモード *2 選択できるアシストモードは、お使いのアシスト自転車 により異なります。
(C)	メンテナンスアラート メンテナンス時期を通知します。このアイコンが表示さ れたら、購入された販売店または代理店へご相談くださ い。	(G)	走行情報表示 *4 現在速度などの走行情報を表示します。表示可能な走 行情報は、お使いのアシスト自転車によって異なります。
(D)	オート変速 / マニュアル変速 *3 [A]:オート変速の場合に表示されます。 [M]:マニュアル変速の場合に表示されます。		

*1 電動変速の場合のみ表示されます。







*2 「SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル」を参照してください。

*3 オート変速 / マニュアル変速の切替えができない仕様のアシスト自転車では、[A]か[M]のいずれかに表示が固定されます。

*4 「走行情報表示を切り替える」を参照。

バッテリー残量表示

バッテリー残量はアイコンで表示されます。

表示	バッテリー残量
	100 ~ 81%
	80 ~ 61%
	60 ~ 41%
	40 ~ 21%
	20 ~ 1% *
	0%

* バッテリー残量がわずかになると、バッテリー残量表示が点滅します。



- サイクルコンピューターでの残量表示は、アシストができなくなるバッテリー残量を0として表示します。SHIMANO STEPSシステムでは、残量不足でアシストが停止しても、しばらくライトを点灯させることができます。このため、バッテリー側で確認できる残量と上記の残量表示が異なる場合があります。

■ ライトをON/OFFする

ライトをドライブユニットに接続している場合、本製品からライトを操作できます。「ライトをON/OFFする [Light]」を参照してください。



- ライトの電源は、主電源と連動します。主電源がOFFのときにライトはONにできません。

■ 走行情報表示を切り替える

メイン画面では、現在速度の他に、様々な走行情報を確認することができます。表示可能な走行情報表示は、お使いのアシスト自転車によって異なります。

1. メイン画面で:<F>



<F>を押すたびに下記の順番で走行情報が切り替わります。

表示項目	説明
-	現在速度
[DST]	走行距離
[ODO]	積算距離
[RNG]	走行可能距離 *1
[TME]	走行時間 *2
[AVG]	平均速度 *2
[MAX]	最高速度 *2
[CAD]	クランク回転数 *2*3
[CLK]	現在時刻 *2

*1 参考値です。アシストモードが[OFF] / [WALK]以外の場合に数値が表示されます。

*2 E-TUBE PROJECTで表示/非表示を設定できます。

*3 電動変速でアシストモードが[OFF] / [WALK]以外の場合に表示されます。



- [CLK]の表示時に走行情報表示を切替えると、現在速度の表示に戻ります。
- 現在速度および[CAD]以外の項目が表示されている場合、1分間放置すると現在速度の表示に戻ります。

走行距離をリセットする

メイン画面から走行距離をリセットします。走行距離をリセットすると、[TME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最高速度) も同時にリセットされます。

走行距離のリセットは、設定メニューからも行えます。([走行距離をリセットする [Clear]]を参照)

1. メイン画面で:<F> (走行情報表示を[DST]に切替え)



2. <F> ([DST]の表示数値が点滅するまで長押し)

3. [DST]の表示数値が点滅した状態で:<F>
走行情報がリセットされます。



- [DST]の数値が点滅し始めてから5秒間放置すると、点滅が止まり、メイン画面に戻ります。

設定メニュー

設定可能な項目は、お使いのアシスト自転車により異なります。アシストスイッチを接続していない場合、設定メニューを表示することはできません。

■ 設定メニューに切替える

設定メニューを表示するには、走行情報表示が[DST]以外の状態で下記の操作を行います。

1. 停車する ⇒ <F> (画面が切り替わるまで長押し)



- 下記の方法でも設定メニューを表示できます。
 - 停車する ⇒ <A> (画面が切り替わるまで長押し)
 - 停車する ⇒ <↑> + <↓> (画面が切り替わるまで同時に長押し)

■ 設定メニュー画面からメイン画面に戻る [Exit]

設定メニューを終了してメイン画面に戻ります。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Exit]

■ 時刻を設定する [Clock]

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Clock] ⇒ <↑><↓> で「時」の数値を変更 ⇒ <F>
カーソルが「分」の数値に移動します。



2. <↑><↓> で「分」の数値を変更 ⇒ <F>
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



- <↑><↓> を長押しすると、素早く数値を変更できます。

■ 操作音をON/OFFする [Beep]

操作音を鳴らすかどうかを設定します。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Beep] ⇒ [ON] / [OFF]
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



- 誤操作やシステム異常時のビーブ音はOFFにできません。

■ ディスプレイの表示を設定する

表示文字色を切替える [Font color]

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Font color] ⇒ [White] / [Black]
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

表示言語を切替える [Language]

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Language] ⇒ 表示言語を選択 ⇒ <F>
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

速度と距離の単位を変更する [Unit]

速度や距離を表示するときの単位を選択します。

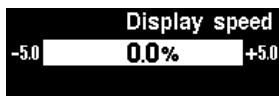
1. 設定メニュー画面 ⇒ [Unit] ⇒ [km] / [mile]
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

他のデバイスと表示速度を合わせる [Display speed]

本製品の速度表示と、お使いの他の機器での速度表示が異なる場合に表示数値を調整できます。

設定項目	説明
数値を大きくする	速度の表示数値を大きくします。
数値を小さくする	速度の表示数値を小さくします。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Display speed] ⇒ <↑><↓> で数値を調整 ⇒ <F>
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



- この設定は表示数値を変更するのみです。電動アシストの機能は変更されません。

走行距離をリセットする [Clear]

走行距離をリセットします。走行距離をリセットすると、[TME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最大速度)も同時にリセットされます。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Clear] ⇒ [DST]
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ アシスト自転車の機能を設定する

ライトをON/OFFする [Light]

ドライブユニットに接続したライトをON/OFFします。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Light] ⇒ [ON] / [OFF]
ディスプレイ表示は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

こぎ出し時の変速段数を設定する [Start mode]

停車状態から走り出す際に設定した変速段数に自動的に変速します。

設定項目	説明
[OFF]	スタートモードを設定しません。
[1], [2], … *1	変速段数を選択します。

*1 アシスト自転車に搭載されている変速機の最大変速段数まで設定できます。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Start mode] ⇒ <↑><↓> で変速段数を選択 ⇒ <F>
ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



乗り味をダイナミックに変更する [Assist profile]

アシスト自転車の乗り味は、ドライブユニットの最大トルクや、アシスト力がペダリングに対してどのように供給されるかによって大きく変わります。本製品では推奨の設定が複数登録されており、お好みに合わせて切替えることができます。設定内容の詳細はE-TUBE PROJECTで確認でき、また任意にカスタマイズすることも可能です。詳しくはE-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルを参照してください。

設定項目	説明
[Profile 1]	[Profile 1]に登録された乗り味に変更します。
[Profile 2]	[Profile 2]に登録された乗り味に変更します。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Assist profile] ⇒ [Profile 1] / [Profile 2]

使用上の注意

設定によってはバッテリーの消費が大きくなり、アシスト走行可能距離が大幅に減少する可能性があります。



- [Profile 1]および[Profile 2]はデフォルトの表示名です。お使いのアシスト自転車により異なる表示名が設定されている場合があります。また、E-TUBE PROJECTで[Profile 1]および[Profile 2]の表示名を変更することができます。変更した場合は、設定項目には変更した表示名が表示されます。

オート変速を調整する [Shift timing]

オート変速時の変速タイミングを調整します。

設定項目	説明
数値を大きくする	ペダリングが重いと感じる場合は、数値を大きくします。
数値を小さくする	ペダリングが軽いと感じる場合は、数値を小さくします。

1. 設定メニュー画面 ⇒ [Shift timing] ⇒ <↑><↓> で数値を調整 ⇒ <F>
ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



ワイヤレス接続

本製品は、ワイヤレス通信機能を持ちます。

■ 2.4 GHzデジタルワイヤレスシステム

周波数2.4 GHzのデジタルワイヤレステクノロジーは、ワイヤレスLANと同じものです。ごくまれに、下記のような場所や機器によって強力な電磁波や電磁干渉で通信に影響を受ける場合があります。

- テレビ、PC、ラジオ、モーター/エンジン、または自動車内や電車内
- 鉄道の踏切や線路、テレビの放送基地やレーダー基地の近所
- 他のワイヤレスコンピューターやデジタル制御ライト

■ ANT接続

メイン画面に表示される情報は、すべてANT接続に対応した外部機器に送信することができます。

接続方法

SHIMANO STEPSの主電源がONになると、いつでも通信を受け付けることが可能です。外部機器の取扱説明書を参照し、外部機器を接続モードに切り替えて接続してください。

■ Bluetooth® LE接続

メイン画面に表示される情報は、すべてBluetooth® LE接続に対応した外部機器に送信することができます。Bluetooth® LEでスマートフォンと接続すると、スマートフォン版E-TUBE PROJECTが使用できます。また、E-TUBE RIDEを使用することで、Bluetooth® LEで接続したスマートフォンから走行情報を確認できます。

接続方法

下記の条件でのみ通信を受け付けることが可能です。外部機器の取扱説明書を参照し、あらかじめ外部機器を接続モードに切替えて接続してください。

- SHIMANO STEPSの主電源をONにしてから30秒間
- SHIMANO STEPSの電源ボタンを除くいずれかのボタン・スイッチの操作後30秒間

■ ワイヤレスシステム仕様

モデル名	SC-E7000
周波数帯	2,402 ~ 2,480 MHz
最大高周波出力	+4 dBm
ファームウェアバージョン	4.0.0以降

■ E-TUBE PROJECT

SHIMANO STEPSの設定やファームウェアアップデートを行うには、E-TUBE PROJECTが必要です。

サポートサイト(<https://bike.shimano.com/e-tube/project.html>)にアクセスし、E-TUBE PROJECTをダウンロードしてください。

E-TUBE PROJECTのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。

使用上の注意

充電中は機器に接続しないでください。



- ファームウェアは予告なく変更される場合があります。

E-TUBE PROJECTで設定可能な項目

お使いのアシスト自転車により、設定できる項目は異なります。詳細はE-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルを参照してください。

- 各操作スイッチの機能割り当てを変更できます。
- 本製品から設定できる設定項目はE-TUBE PROJECTからも設定可能です。
- アシスト自転車の乗り味の設定をストックしておき、本製品に登録することができます。(「乗り味をダイナミックに変更する [Assist profile]」参照)

トラブルシューティング

■ RDプロテクション機能からの復旧 [RD protection reset]

転倒などからシステムを保護するため、リアディレーラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレーラーが正しく動作しなくなります。

RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレーラーがRDプロテクションから復旧します。



- 本機能は電動変速のリアディレーラー仕様のみ有効です。

1. 設定メニュー ⇒ [RD protection reset] ⇒ [OK]
画面にクランクセットのイラストが表示されます。
2. 後輪を持ち上げた状態で、クランクを時計回りに回す
リアディレーラーが動き、モーターとリンク部の接続が回復します。



■ 電動変速ユニットの変速調整 [Adjust]

変速に違和感があるときは、購入した販売店にご相談ください。

■ エラー・ワーニング表示

エラー表示

画面全体にエラーコード「E***」(***はアルファベット、または数字)が表示された場合、製品が故障している可能性があります。
[SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル]を参照して下記のいずれかの方法で表示をリセットしてください。

- バッテリーの電源ボタンを押して電源をOFFにする。
- バッテリーをバッテリーマウントから取外す。



使用上の注意

- 再度電源をONにしても状況が回復しない場合は、速やかに購入された販売店または代理店にご相談ください。

ワーニング表示

画面にワーニングコード「W***」(***はアルファベット、または数字)が表示された場合、製品に一時的な異常が発生しています。表示中は機能が制限されることがあります。

状況が回復すると、この表示は消えます。状況が回復しない場合は、速やかに購入された販売店へご相談ください。



- PC版のE-TUBE PROJECT (V4以降) では、エラー・ワーニングについて、発生原因をより詳細に区別します。このため、PC版E-TUBE PROJECTで表示されるエラー・ワーニングコードは、本製品やE-TUBE RIDE、およびスマートフォン版E-TUBE PROJECTで表示されるものと異なる場合があります。

エラー・ワーニングコードの詳細については、下記の最新バージョンをご確認ください。



<https://si.shimano.com/IER/STP0A>

■ 困ったときは

症状	考えられる原因	対処法
サイクルコンピューターの画面が点灯しない。	(メイン)バッテリー残量が不足している可能性があります。	[SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル]を参照し、バッテリーを充電してから、再度電源をONにしてください。
	電源はONになっていますか？	[SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル]を参照し、電源をONにしてください。
	充電中ではありませんか？	自転車にバッテリーを取付けた状態で充電中は、電源をONにできません。充電を中止してください。
	エレクトリックワイヤーのコネクターは正しく取付けられていますか？	エレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。はっきりしない場合は、購入された販売店にご相談ください。
	システムが認識できない製品を接続している可能性があります。	購入した販売店にご相談ください。
変速段数が表示されない。	変速段数は電動変速ユニットが取付けられている場合のみ表示されます。	エレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。はっきりしない場合は、購入された販売店にご相談ください。
操作音を消したい。		[操作音をON/OFFする [Beep]]参照。
走行中に設定メニューが起動できない。	走行状態を認識すると設定メニューが起動できない仕様です。異常ではありません。	停車して設定を行ってください。
スイッチを押したときに「ピッピ」と音が2回鳴りスイッチの操作ができない。	押したスイッチの操作は禁止されています。	故障ではありません。
音が「ピッピピッ」と3回鳴る。	エラーまたはワーニングが発生しています。	サイクルコンピューターにエラーまたはワーニングが表示されています。[エラー・ワーニング表示]参照。
停車時にスタートモードで設定した変速段数に変速しない。	ペダルを強く踏みすぎた可能性があります。	ペダルを軽く踏むと、より容易に変速されます。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地